ボランティア活動報告書　【記入要領】

①本人が記入する

本人記入欄	氏名				
	活動内容	活動期間	～	活動地域	（都道府県名・市区町村名）
		・活動期間は、評価を記入する活動関係者（本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア活動を現地で統率する人）がボランティア活動を見守った期間とする。 通常は１日から１週間程度の期間が想定されるが、長期（１か月以上）の活動期間になる場合は、１か月ごとに区切って報告書を作成し、記録と振り返りを適宜行う。 【活動分野の例】 子どものサポート・学習支援、高齢者のサポート、障害者のサポート、外国人のサポート、被災者のサポート、施設・病院ボランティア、各種スポーツ指導、観光案内、異文化交流、人権擁護・ジェンダー、まちづくり、防犯・交通安全、伝統文化の継承、動物の保護、環境保護、清掃活動、農林水産業振興、政策提言、その他 （活動分野：　　　　　　　　　　　）			
	活動の動機・目的	・なぜこの活動に参加しようと思ったのかという理由と、自分がこの活動をとおして活かしたい、育てたい特性や獲得したいものを記入する。			
	活動から得たもの	・活動の経験をとおして、何に気づいたか、どこが成長したかを記入する。 ・可能であれば、活動の経験を今後どのように活かすかを記入する。			

②本人と活動関係者がそれぞれ記入する

活動で育った特性		本人が育ったと感じた特性	活動関係者が感じた特性
自分から進んで取り組んでいる	（自発性・主体性）		
最後までやり抜く	（実行力・責任感）		
人と協調しながら取り組んでいる	（チームワーク・協調性）		
チームをリードして取り組んでいる	（リーダーシップ）		
工夫して、全体の作業を改善している	（課題解決・創造力）		
（本人が特性を自由記入）	←上記の特性以外で育った特筆すべき特性がある場合に記入（例：伝える力、観察力、体力、専門的な知識・技能、等）		

該当する特性にマーク（〇印等。紙媒体の場合は署名や印鑑でもよい）を付ける

③活動関係者が記入する

活動関係者記入欄	活動に対するコメント （素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点　など）	・活動関係者が活動を通じて学生を見た結果、素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点などのコメントを自由記述する。
	記入された方のお名前	印
	記入された方のお立場	・記入者が団体又は活動においてどのようなお立場にあるかを記入する（被災者、ボランティア活動の現地統率者など）
	記入日	年　　月　　日

様式作成　公益財団法人さわやか福祉財団